

捨印

登録印鑑（捨印）を
押してください。

令和 7 年 3 月 31 日

法人番号（5桁）		1	2	3	4	5
志向別 法人立等	番号 （7桁）					

登録印鑑と同一の所
在地を記入ください。

東京都知事 殿

締切日が4月以降の場合でも、
令和7年3月31日以前の日
付を記入してください。

郵便番号 163-8001

法人/設置者所在地
（印鑑証明と同一） 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

法人/園名 学校法人都庁学園

理事長・設置者名 都庁 太郎

登録印鑑（実印）を
押してください。

都庁

令和6年度とうきょう すくわくプログラム推進事業補助金実績報告書

令和7年1月29日付6生私振第1452号で交付の決定を受けた、令和6年度とうきょう すくわくプログラム推進事業補助金について、下記のとおり報告します。

記

1 園別内訳

園名	(A) 交付決定額（円）	(B) 補助金執行額（円）	差額（円） (A) - (B)
都庁幼稚園	1,271,000	1,265,000	6,000
合計	1,271,000	1,265,000	6,000

交付決定通知書の学校別交付決
定額を記入してください。

別紙1の「補助金執行額」を記
入してください。

※ 交付申請内容と執行内容に変更がない場合は、「(A) 交付決定額」と「(B) 補助金執行額」となります。

青色セルの箇所は、自動計算されます。

こちらの金額を補助金請求書に
記載してください。

担当者	都庁 次郎
電話番号	03-****-****
メールアドレス	1234567@tochou-youchien.ed.jp

捨印

幼稚園番号	1	2	3	4	5	6	7
都庁幼稚園							

幼稚園ごとに作成
※記入欄が不足する場合には、内訳の行をコピーし、コピーした行を9行目～14行目の間に挿入してください。

プルダウンメニューから選択してください。
<費目>給料手当（非常勤職員に対するもの）、報償費、旅費、消耗品費、燃料費、会議費、印刷製本費、備品購入費、通信運搬費、広告料、手数料、雑役務費、委託料、保険料、使用料及び賃借料、工事費

金額は、**税込金額**で記入してください。

2 園別実績内訳 (注1)

(1) 補助金交付対象経費の実績

番号 (注2)	費目 (注3)	品目等 (注4)	用途 (注5)	金額	
内訳	1	給料手当	ネイティブ講師人件費 (非常勤職員)	英語遊びの講師として 雇用	500,000
	1 3	消耗品費	カメラ	活動の記録のため	31,900
	2	委託料	体操講師料	活動の際の講師として 委託	300,000
	2	印刷製本費	活動記録集製本	活動を共有するため	20,200
	3	消耗品費	野菜の種苗	栽培のため	43,721
	3	工事費	畑増設のため	環境整備のため	370,000
	① 総額				1,265,821

●どの事業で必要な経費かがわかるよう、別記第2号様式 別紙2「3実績報告(園別活動内容)」に記載した事業の番号と一致させてください。
●全ての事業にまたがる場合は、「1～3」などその旨明記ください。

交付決定通知書の学校別交付決定額を記入してください。

(2) 補助金執行額

①の千円未満切捨て (円)	交付決定額	補助金執行額 (円)
②	③	②と③のいずれか低い額
1,265,000	1,271,000	1,265,000

(注) 青色セルの箇所は、自動計算されます。 成してください。

こちらの金額を実績報告2号様式表紙の各園の(B)補助金執行額に記載してください。

(注2) 「番号」欄には、「3実績報告(園別活動内容)」の番号を記入

(注3) 「費目」欄には、補助金交付対象経費の費目を記入してください。
<費目>給料手当（非常勤職員に対するもの）、報償費、旅費、消耗品費、燃料費、会議費、印刷製本費、備品購入費、通信運搬費、広告料、手数料、雑役務費、委託料、保険料、使用料及び賃借料、工事費

(注4) 「品目等」欄には、補助金交付対象経費の具体的な内容を記入してください。

(注5) 「用途」欄には、探究活動において、どのように使用したのかが分かるように記載してください。



幼稚園番号	1	2	3	4	5	6	7
園名	都庁幼稚園						

3 実績報告（園別活動内容）

幼稚園ごとに作成

(1) 確認事項

活動報告書作成・公表	✓	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。
公表の方法 【HPでの公表の場合は リンク先アドレス】		【提出時点で公表済の場合】 https://tochou-youchien1234567.ed.jp 【提出時点で未公表の場合】 令和7年5月中旬公表予定

- 「活動報告書作成・公表」は提出時点で未公表でも公表予定の場合は、チェックしてください。
 - 令和6年度の活動報告書を自園のホームページ等で公表している場合
「公表の方法」欄に公表ページのアドレス等を記入してください。
 - 令和6年度申請事業の活動報告書等が提出時点で自園のホームページ等で未公表の場合
公表予定の時期を記入してください（令和7年5月末までに公表してください）。
- また、公表後速やかにHP上リンク先アドレスを下記送り先宛てに送ってください。

(2) 活動内容

<送り先> S1121501@section.metro.tokyo.jp
 <件名>とうきょう すくわくプログラム推進事業補助金実績報告書（R6活動報告書）（学校法人番号5桁又は幼稚園番号7桁）

番号						
テーマ	令和6年7月～令和7年2月・月2回（計12回）					
実施回数・期間 (注3)	英語遊び					
対象クラス・ 対象人数 ※3歳児クラスには、 満3歳児クラスを含む	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	人	人	人	人	人	38人
活動内容 (注4)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な挨拶などで友達とコミュニケーションを取った。 ・英語の歌やダンスを活用しながら、英語を使って自分なりに言葉や感情を表現した。 ・「英語を話す国の人とはどんな生活をしているのだろうか?」「日本との違いは何だろうか?」といった視点から、英語の絵本をもとに異文化について知り、理解を深めた。 					
活動における チェックリスト	✓	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。				
		※乳幼児同士の関わりを促すための工夫をしたか グループに分けて活動を行い、子どもの考えや表現を友達や教諭に共有しながら活動を行うことにより、				
	✓	活動中の乳幼児の様子を写真・映像等で記録した。				
		※記録をどのようにして見直し、子どもたちの言葉をメモして記録した。				
	✓	乳幼児一人ひとりの様子や興味関心等を写真・映像等で記録した。				
		※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 子供たちが自由に英語に触れたり、自分の興味に基づいて自由に活動できる環境を整えた。教諭は子供の主体性をもとに活動を展開し、見守ることを心掛けた。				
	✓	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。				
		※振り返りの実施方法 子供たちの降園後の時間等を活用し、撮影した写真や映像を見ながら、他クラスの担任等も交えて、教諭同士で振り返りを行った。記録をもとに、子供たち一人ひとりが何に関心を持ち、どのようなアイデアを持っていたかについて理解を深めた。				
	✓	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。				
		※教諭や保護者等への共有方法 保護者に対しては、園だよりをもって探究活動の様子を周知した。また、活動の様子について、写真と子供の言葉を掲載した掲示物を作成し、各クラスの掲示板にて展示した。加えて、園のホームページにおいても活動内容を随時掲載した。				
✓	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。					
	※継続的な実施のための工夫 活動中の子供たちの反応や興味関心に着目し、子供の言葉やアイデアを取り入れながら環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。					

“どのような取組を行ったのか”、またその取組が“どのように幼児教育の充実につながったのか”がわかるように記入してください。

※交付申請時の計画段階の内容のままで提出しないようご注意ください。

(注1) 「3 実績報告（園別活動内容）」は、園ごとに作成してください。

(注2) 活動内容が複数ある場合は、活動ごとに記入してください。

(注3) 「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施する取組については対象になりません。

(注4) 「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。



幼稚園番号	1	2	3	4	5	6	7
園名	都庁幼稚園						

●年に1回のみ実施等、単発で実施した取組は原則として対象となりません。
●補助対象期間内で、一定程度継続的（月を単位として複数月）に実践してください。

番号	2					
テーマ	体操					
実施回数・期間 (注3)	令和6年7月～令和7年3月・週1回 (計27回)					
対象クラス・ 対象人数 ※3歳児クラスには、 満3歳児クラスを含む	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	人	人	人	人	40人	38人
活動内容 (注4)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の動きによって感情等を表現した。 ・室内遊具やアスレチック遊具などを活用し、自ら挑戦し、遊びを生み出した ・動きと関連する体の感覚や変化を「どのように感じたか？」などについて自分の考えを表現した。 ・月に1回、講師を招いて、身体を使った遊びの中で、「どうすればできるようになるだろう？」と、仲間たちと協力しながら、表現力を深めた。 					
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか グループに分けて活動を行い、子供たちが自分の考えや表現を友達や教諭に共有しながら活動を行うことにより、教諭や友達との関わりを促した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 子供たちのジェスチャーをメモで記録するとともに、活動の様子をタブレットを用いて写真や映像にて記録した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 子供たちが自由に体を動かしたり、自分の興味に基づいて自由に活動できる環境を整えた。教諭は子供の主体性をもとに活動を展開し、見守ることを心掛けた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 子供たちの降園後の時間等を活用し、撮影した写真や映像を見ながら、他クラスの担任等も交えて、教諭同士で振り返りを行った。記録をもとに、子供たち一人ひとりが何に関心を持ち、どのようなアイデアを持っていたかについて理解を深めた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 保護者に対しては、園だよりをもって探究活動の様子を周知した。また、活動の様子について、写真と子供の言葉を掲載した掲示物を作成し、各クラスの掲示板にて展示した。加えて、園のホームページにおいても活動内容を随時掲載した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 活動中の子供たちの反応や興味関心に着目し、子供の言葉やアイデアを取り入れながら環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。					

各チェックリストの内容をご確認の上、全ての口に✓を入れていただく必要があります。



幼稚園番号	1	2	3	4	5	6	7
園名	都庁幼稚園						

事業実施時点での実施対象クラスの人数を記入ください。

番号	3						
テーマ	野菜の栽培						
実施回数・期間 (注3)	令和6年9月～令和7年2月 (計10回)						
対象クラス・ 対象人数 ※3歳児クラスには、 満3歳児クラスを含む	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	
		人	人	人	人	40人	38人
活動内容 (注4)	<p>・種を植え、花が咲き、実がなる過程において、野菜について興味を持ち、「なぜ花が咲くのか」「葉っぱはなぜ枯れるのか」「どうすれば実が大きくなるのか」などの疑問について、試したり自分で調べたりすることで考えを深めた。</p> <p>・また、収穫し、実際に育てた野菜を食べる経験をすることで、食についての楽しさを体験した。</p>						
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか グループに分けて活動を行い、子供たちが自分の考えや表現を友達や教諭に共有しながら活動を行うことにより、教諭や友達との関わりを促した。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 子供たちの言葉や表情をメモで記録するとともに、活動の様子をタブレットを用いて写真や映像にて記録した。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 子供たちが自由に観察したり、自分の興味に基づいて自由に活動できる環境を整えた。教諭は子供の主体性をもとに活動を展開し、見守ることを心掛けた。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 子供たちの降園後の時間等を活用し、撮影した写真や映像を見ながら、他クラスの担任等も交えて、教諭同士で振り返りを行った。記録をもとに、子供たち一人ひとりが何に関心を持ち、どのようなアイデアを持っていたかについて理解を深めた。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 保護者に対しては、園だよりをもって探究活動の様子を周知した。また、活動の様子について、写真と子供の言葉を掲載した掲示物を作成し、各クラスの掲示板にて展示した。加えて、園のホームページにおいても活動内容を随時掲載した。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 活動中の子供たちの反応や興味関心に着目し、子供の言葉やアイデアを取り入れながら環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。						

委託等により実施する場合には、教諭が内容検討や活動に主体的に関わり知見を深めることが必要です。